

VI 調査票及び届書

Part VI Survey forms and notification formats

数字記入例

0123456789

人口動態調査出生票

統計法に基づく
基幹統計調査
政府統計

照会

市区町村符号及び保健所符号

支所 保健所

事件簿番号

平成 年 月 日 市区町村受付

平成 年 月 日 保健所受付

(1) 子の氏名 父 母との続柄 男 女	氏名	出生年月日	性別	生まれたとき	年 月 日	時
(3) 生まれたところ	日本 外国	市区町村符号	保健所符号	市、郡、特別区	町、村、指定都市の区又は総合区	
(4) 子の住所	日本 市区町村 外国 市区町村	市区町村符号	保健所符号	市、郡、特別区	町、村、指定都市の区又は総合区	
(5) 父母の氏名 父 母	(6) 父母の国籍	出生年月日	性別	父 母	父 母	
(7) 同居を始めたとき	(8) 子が生まれたとき の世帯の主な仕事	(9) 子が生まれたとき の父母の職業	(10) 子が生まれたところ	施設の種類	施設の種類	
(11) 体重 身長	(12) 単胎・多胎の別	単胎・多胎の別	施設の種類	施設の種類	施設の種類	
(13) 妊娠週数	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	
(14) この母の出産した回数	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	
(15) 出生に立ち会った者	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	出生票番号	

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づき報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0123456789

人口動態調査死亡票 2

平成 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく
基幹統計調査

市区町村符号及び保健所符号		支所 保健所		事件簿番号		平成 年 月 日 保健所受付		照会		
(1) 氏 名		(3) 生 年 月 日				(4) 死 亡 し た と き				
		年 月 日 午前 午後 時 分				年 月 日 午前 午後 時 分				
(2) 男 女 別		(6) 日 本 外国 不詳		都 道 府 県		市、郡、特別区				
(5) 死亡した人の住所		日本 日本外		市区町村符号		保健所符号				
(7) 死亡した人の国籍		日本 韓国 中国 フィリピン タイ 米国 英国 フランス ベルギー その他		(8)(9) 死亡した人の夫または妻		いる 満 歳 いない(未婚死別離別) 不詳				
(10) 死亡したときの世帯の主な仕事		1 農家 2 自営 3 勤 1 4 勤 2 5 その他 6 無職		(11) 死亡したときの職業・産業		(12)(13) 死亡したところの種類		施設の名		
原因符 号		外因の状況符 号		発生したところ符 号		傷害発生したところ符 号		母側符 号		
死 亡 の 原 因	(ア) 直接死	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
	(イ) (ロ) の原因	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
	(ウ) (イ) の原因	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
	(エ) (ロ) の原因	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
	(オ) (イ) の原因	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
	(カ) (イ) の原因	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。								
(イ) ほか欄にた影響病を及等	▼枠内に記入しきれない分は下欄に記入してください。									
手術	1 無 2 有	部位及び主要所見				手術年月日	解 1 無 2 有	主要所見		
						平成 昭和 年 月 日 割				
(15) 死因の種類	1 病死・自然死		不慮の外因死		その他及び不詳の外因死		12 不詳		出生時体重	
									単胎・多胎の別	
(16) 外因死の追加事項	平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		傷害が発生したところ		妊娠週数		妊娠・分娩時における母体の病歴又は異状	
(19) 施設の所在地又は医師の住所及び氏名	住所		丁目		番地		確認		備考	
	氏名									

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。

この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調査死産票 3

平成 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく
基幹統計調査

市区町村符号及び保健所符号

事件簿番号

平成 年 月 日 保健所受付

照会

(1) 父母の国籍	父	日本	韓国	中国	フィリピン	タイ	米国	英国	フランス	ベルギー	その他	不詳	(2) 父母の氏名及び年齢	父	母
	母	日本	韓国	中国	フィリピン	タイ	米国	英国	フランス	ベルギー	その他	不詳		満 歳	満 歳

(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別	男	女	不詳	嫡出子	嫡出でない子	(4) 死産があったとき	昭	平	年	月	日	午前	午後	時
-----------------------	---	---	----	-----	--------	--------------	---	---	---	---	---	----	----	---

(5) 死産があったときの母の住所	日本	外国	不詳	都	道	府	県	市	郡	特別区	町	村	指定都市の区又は総合区
	届市区町村	届市区町村以外	市区町村符号	保健所符号	指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方								

(6) 死産があったときの世帯の主な仕事	1 専業主婦	2 自営	3 勤労	4 勤労	5 その他	6 無職	(7) 死産があったときの父の職業	父	母	(8) この母の出産した子の数	出生子	妊娠22週以後の死産児	妊娠21週以前の死産児
----------------------	--------	------	------	------	-------	------	-------------------	---	---	-----------------	-----	-------------	-------------

(9) 妊娠週数	満	週	日	(10) 死産児の体重及び身長	kg	cm	(11) 胎児死亡の時期	1 分娩前	2 分娩中	3 不詳
----------	---	---	---	-----------------	----	----	--------------	-------	-------	------

(12) 死産があったところの種類	1 病院	2 診療所	3 助産所	4 自宅	5 その他	(13) 単胎・多胎の別	1 単胎	2 多胎	(子中第 子)	(14) 死産の自然人工別	1 自然	2 人工	3 不明
-------------------	------	-------	-------	------	-------	--------------	------	------	---------	---------------	------	------	------

自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由	胎児の側										母の側									
	(ア) 直又は接は原因										(イ) 原因									
	(イ) 原因										(ウ) 原因									
	(ウ) 原因										(エ) 原因									
	(エ) 原因										(オ) 原因									
	(オ) 原因										(カ) 原因									
母体による場合	1 母体側の疾患										2 その他									
	疾患名又は理由										疾患名又は理由									
母体によらない場合	1 母体側の疾患										2 その他									
	疾患名又は理由										疾患名又は理由									

(16) 胎児手術の有無	1 無	2 有	部位及び主要所見	(17) 死胎解剖の有無	1 無	2 有	主要所見	(18) 死産に立ち会った者	1 医師	2 助産師	3 その他
--------------	-----	-----	----------	--------------	-----	-----	------	----------------	------	-------	-------

双子以上の場合は他の子の事件簿番号	出生票第 号	死産票第 号	確認欄	備考
-------------------	--------	--------	-----	----

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例

0123456789

人口動態調査婚姻票

4

統計法に基づく
基幹統計調査



照会



平成 年 月 日 市区町村受付
平成 年 月 日 保健所受付

事件簿番号

支所 保健所

市区町村符号及び保健所符号

市区町村 受付月 年 月 日 夫 氏名及び生年月日 大昭平 大昭平 年 月 日 妻

(2) 夫の住所 日本 外国 都道府県 市、郡、特別区 町村指定都市の区又は総合区指定都市の町字丁目以下は記入しないでください

(3) 国籍 夫 妻 夫の氏 妻の氏 (4) 婚姻後の夫婦の氏 不詳 不詳 (5) 同居を始めたとき 大昭平 大昭平 年 月 日

(6) 初婚・再婚の別 夫 妻 初婚 再婚 大昭平 大昭平 年 月 日

(7) 同居を始める前の世帯の主な仕事 同居を始める前の夫の世帯の主な仕事 同居を始める前の夫の職業 大昭平 大昭平 年 月 日

確認 備考欄

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づき報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調查離婚票

統計法に基づく
基幹統計調査

[illegible]

市 区 町 村	月	夫	妻	年	月	年	月
受 付 月	(1)	氏 名 及 び 生 年 月		大 昭 平	大 昭 平	大 昭 平	大 昭 平
夫			同居の期間				
			同居を始めたとき				
妻			別居したとき				
			別居したとき				
夫			未成年の子の数				
			夫が離婚を行う子				
妻			妻が離婚を行う子				
			妻が離婚を行う子				
夫			離婚の種類				
			不詳				
妻			不詳				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				
夫			結婚の理由				
			不詳				
妻			結婚の理由				
			不詳				

[illegible]

(9)	別居する前の 世帯の主な仕事	(10)	別居する前の 夫妻の職業
	1農家 2自営 3勤I 4勤II 5その他 6無職		夫 妻

確認	備考

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

呬
卣
卣

平成 年 月 日届出

[illegible]

出生證明書

子の氏名	平成 年 月 日	男女 の別	1 男 2 女
生まれたとき	平成 年 月 日	午前 午後	
出生した ところ及び その種別	出生したところ の種別	1 病院 2 診療所 4 自宅 5 その他	3 助産所
	出生した ところ	番地 番	号
	(出生したところ の種別1～3) 施設の名称		
体重及び身長	体重	身長	センチメートル
単胎・ 多胎の別	1 単胎	2 多胎 (子中第 子)	
母の氏名		妊娠 週数	満 週 日
この母の出産 した子の数	出生子 (この出生子及び出生後 死亡した子を含む) 死産児 (妊娠満22週以後)		人 胎
1 医師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。 (住所) (氏名)	平成 年 月 日	番地 番 号 印

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、
←当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かない
てください。

子が生まれた日からぞえて14日以内に

子の本籍地でない役場に出すときは、2通出してください(役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります。)。2通の場合でも、出生証明書は、原本1通と写し1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、
かたかな、ひらがなで書いてくださ
い。子が外国人のときは、原則た
かなで書くとともに、住民票の処理
上必要ですから、ローマ字を付記し
てください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

□には、あてはまるものに□のよう
にするしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに
記載されている人の氏名を書いてく
ださい。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

属死亡

平成 年 月 日 届出

[illegible]

死亡診斷書 (死体検案書)

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

[illegible]

因 匪

平成 年 月 日届出

殿長

平成 年 月 日 届出				受理 平成 年 月 日 発送 平成 年 月 日				
第 号				第 号				
長 殿				調査票 附 票 住民票 通知				
氏 名 (よみかた)				夫 にな る 人 妻 にな る 人				
氏 名				氏 名				
生 年 月 日				年 月 日				
住 所				番 地 番 号				
(住民登録をして いるところ)				番 地 番 号				
本 籍				番 地 番 号				
(外国人のときは 国籍だけを言い てください)				番 地 番 号				
父 母 の 氏 名				父 母				
父母との続き柄 (他の養父母は ないか、他(に) 書いてください)				続き柄				
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍				新本籍 (左の□の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となつているときは書き添えてください)				
同居を始めた とき				年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)				
初婚・再婚の別				□初婚 □再婚 □死別 □離婚				
同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と				1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を構っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店経営 (官公庁は除く) の常勤労働者世帯で勤め先の従業員数が 1人から99人までの世帯常勤労働者世帯及び会社団体の役員・世帯 (日々また 4. 3にあてはまらない常勤労働者世帯は5) 5. 1年未満の契約の雇用者は5) 6. 仕事をしている者のいない世帯				
夫 妻 の 職 業				年...の4月1日から翌年3月31日までに出出をするときだけ書いてください)				
夫 妻 の 職 業				妻の職業				
そ の 他								
夫 人 出 入 印				妻 印				
届 署 名 押 印				妻 印				
事件簿番号								
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								
(6)								
(7)								
(8)								

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。

夫になる人または妻になる人の本籍地に出すときは2通、そのほかのところに出すときは3通出してください（役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります。）。

この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人	
署 押 名 印	印
生 年 月 日	年 月 日
住 所	番 地 番 号
本 籍	番 地 番 号

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。

養父母についても同じように書いてください。

□には、あてはまるものに□のようしをつけてください。

外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書い
てください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

離婚届

平成 年 月 日 届出

長 殿

受理第 号	平成 年 月 日	発送平成 年 月 日
送付第 号	平成 年 月 日	長 印
書類記載	戸籍記載	記載調査
調査票	調査票	附 票
住民票	住民票	通 知

(1) 氏 名	夫 氏 名	妻 氏 名
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所	番 地 番 号	番 地 番 号
(住民登録をして いるところ)	世帯主 の氏名	世帯主 の氏名
本 籍	番 地 番 号	番 地 番 号
(外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	世帯主 の氏名	世帯主 の氏名
父 母 の 氏 名 父母との続柄 (他の家族は 書いてください)	父 母	妻の父 母
離婚の種別	☐ 協議離婚 ☐ 調停 ☐ 審判	☐ 和解 ☐ 請求の認諾 ☐ 判決
婚姻前の氏に もどる者の本籍	夫 妻 は どの戸籍にもどる 新しい戸籍をつくる	夫 妻 は どの戸籍にもどる 新しい戸籍をつくる
未成年の子の氏 名	妻が親権 を行う子	妻が親権 を行う子
同居の期間	年 月 日 から 年 月 日	年 月 日 から 年 月 日
別居する前の住所	(同居を始めたとき)	(別居したとき)
別居する前の世帯のおもな仕事と	☐ 1.農業だけまたは農業とその他の仕事を営んでいる世帯 ☐ 2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐ 3.企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 4.3にあってはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐ 5.1から4にあってはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐ 6.仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)	妻の職業
夫 妻 の 職 業	夫の職業	妻の職業
その他		
届 出 人 印	夫 印	妻 印
署 名		
事件簿番号		

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
本籍地でない役場に出すときは、2通または3通出してください(役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります。)。また、そのさい戸籍簿本も必要です。
そのほかに必要なもの 調停離婚のとき→調停調査の原本
審判離婚のとき→審判書の原本と確定証明書
和解離婚のとき→和解調査の原本
協議離婚のとき→協議調査の原本
判決離婚のとき→判決書の原本と確定証明書

署 印	名 印	人 (協議離婚のときだけ必要です)
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所	番 地 番 号	番 地 番 号
本 籍	番 地 番 号	番 地 番 号

父母がいま婚姻しているときは、母の氏を書かないで、名だけを書いてください。
養父母についても同じように書いてください。
□には、あてはまるものに□のようしるしをつけてください。

今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。))。

同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

未成年の子がいる場合は、次の□のあてはまるものにしるしをつけてください。
(面会交流)
☐取決めでしている。
☐まだ決めていない。
(養育費の分担)
☐取決めでしている。
☐まだ決めていない。
(未成年の子がいる場合に父母が離婚をするときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。)